

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	函南町公共下水道総合地震対策・長寿命化事業（第3期）（防災・安全）											
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	函南町											
計画の目標	函南町公共下水道総合地震対策計画にて重要な管渠に位置付けられている緊急輸送路に埋設される管路及び防災拠点と処理場を結ぶ管路等、雨水ポンプ場の耐震化及び減災対策を実施する。 また、ストックマネジメント計画を策定し、管きょおよびポンプ場の計画的な調査・点検の実施や改築・更新を進めていくことにより長寿命化を図り、安全・安心な生活環境を整備する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	164	A	164	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R5	R6
1	函南町公共下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震化及び減災対策を実施する。 函南町公共下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震化及び減災対策を実施する。 地震対策済み延長（m） / 地震対策計画延長（m）	96%	96%	98%
2	函南町ストックマネジメント計画策定率を0%から70%に増加させる。 函南町ストックマネジメント計画策定率を0%から70%に増加させる。 ストックマネジメント計画策定済み計画数 / ストックマネジメント計画を策定すべき計画数	0%	50%	70%
3	雨水ポンプ場の耐震化および減災対策、長寿命化対策方針の検討を検討し、減災化および長寿命化実施率を0%から50%に増加させる。 雨水ポンプ場の耐震化および減災対策、長寿命化対策方針の検討を実施し、実施率を0%から50%に増加させる。 減災対策および長寿命化対策済みの施設数 / 減災化および長寿命化対策を実施すべき施設数	0%	20%	60%
4	内水浸水想定区域図を作成する。 内水浸水想定区域図作成率を0%から100%に増加させる。 内水浸水想定区域図作成済み面積（ha） / 内水浸水想定区域図を作成すべき面積（ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠(汚水)	改築	重要な管路の耐震化事業	耐震化 L=0.140 km	函南町						45	-	
	A07-002	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠(汚水)	改築	函南町ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画の策定	函南町							77	-
	A07-003	下水道	一般	函南町	直接	函南町	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場の耐震化事業	雨水ポンプ場の耐震化	函南町							42	-
	A07-004	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠(雨水)	-	内水浸水想定区域図作成	内水浸水想定区域図作成	函南町							0	-
												小計						164	
												合計						164	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業の進捗状況や目標の達成状況を検証し、その結果を踏まえて函南町にて評価した。	令和8年1月
	公表の方法 函南町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 重要な管渠の耐震化を実施したことにより、防災拠点下流管渠の耐震性が向上した。 2 函南町ストックマネジメント計画を策定し、計画に基づく管路の点検調査を実施したことにより、老朽化する管路の状況を確認し、適切な維持管理の方針を決定することができた。 3 雨水ポンプ場（土木構造物・建築構造物）の耐震診断及びストックマネジメント計画を策定し、供用開始から約40年を迎える施設全体の今後の修繕・改築方針について検証することができた。 4 国土交通省所管モデル事業により内水浸水シミュレーションを実施したため、交付対象事業としては実施しなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>計画的かつ効率的な地震対策・長寿命化対策を継続して実施することにより、持続可能な公共下水道事業、安心・安全な生活環境を構築することを目的とし、次期計画に移行して事業を推進する。なお、地震対策事業については、令和8年度以降、上下水道耐震化計画及び総合地震対策計画に基づく整備として重点計画に移行し、事業を継続することとする。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	98%
	最終実績値	98%
2	最終目標値	70%
	最終実績値	80%
3	最終目標値	60%
	最終実績値	60%
4	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

函南町公共下水道総合地震対策・
長寿命化事業(第3期)(防災・安全)
実施事業一覧

A07-002 スtockマネジメント事業

事業費 76,868千円

国費 38,019千円

・計画策定

※対象範囲はグレー着色既整備区域内管路施設、
マンホールポンプ場、雨水ポンプ場

・管路点検調査 L=12.881km

A07-001 重要な管路の耐震化事業

事業費 45,166千円

国費 22,269千円

・計画策定

・管路耐震化 L=0.627km

A07-003 雨水ポンプ場耐震化事業

事業費 41,668千円

国費 17,495千円

・耐震診断(土木・建築)

